

消防ホースが繋ぐ動物園と保全の現場

よこはま動物園

宮川 悦子

私は、今年 4 月、オランウータンの生息地であるボルネオ島北東部のスカウ村に、消防ホースで作った吊り橋を架けに行ってきました。

現地で保全活動を展開している NPO 法人ボルネオ保全トラストが行っている「オランウータンのための吊り橋プロジェクト」は、森林伐採などで、生息地の森が分断され孤立化しているオランウータンの移動ルートを確保するため、2008 年 4 月にスタートしました。これは、飼育下のオランウータンのエンリッチメントアイテムのひとつとして活用されている消防ホースとその技術を保全の現場に役立てるといふ、ユニークな試みです。

昨年、1 本目の吊り橋が架橋され、いくつかの改善点を検討し、今年 2 本目を架橋してきました。

このプロジェクトの詳細と動物園のオランウータンのことをご紹介しながら、動物園と保全の現場の連携について考えてみたいと思います。